

ゴム添加剤の現状と将来展望

主 催 社団法人 日本ゴム協会関東支部

日 時：平成22年2月17日(水) 午前10時～午後4時40分
 会 場：東京電業会館・地下ホール(東京都港区元赤坂1-7-8 TEL. 03-3403-5181)
 定 員：70名(定員になり次第締切ります)
 受 講 料：会員21,000円、学生会員 無料、会員外42,000円、一度ご納入いただきました受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。賛助会員は2名まで会員扱いといたします。
 申込方法：申込書に所定事項を明記のうえ、下記の宛先までお申込みください。受講票は2月上旬に申込者にお送りいたします。
 送金方法：銀行振込(三井住友銀行日比谷支店(普)No. 3231980 (社)日本ゴム協会関東支部)で開催日までにご送金願います。請求書をご入用の節は、あらかじめ申込書にご記入ください。なお、振込手数料は受講者側でご負担願います。
 申 込 先：社団法人 日本ゴム協会関東支部 アドバンテックセミナー2010係
 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル
 TEL. 03-3401-2957 FAX. 03-3401-4143 E-mail : srij.kanto@srij.or.jp

時 間	科 目	講 師
10:00～10:10	開会のあいさつ	
10:10～11:10	「加硫剤の特徴と最近の技術動向」 現在使用されているものを中心に硫黄系加硫剤を紹介し、加えて硫黄加硫の配合系の改質についていくつかの紹介を行う。	三新化学工業(株)研究所 高分子課 立島 達夫氏
11:10～12:10	「ゴム配合と加工助剤」 最近のゴムの加工性に関わる問題点とそれらに対応する薬品の紹介をする。	川口化学工業(株)研究開発部 高分子加工グループ 大貫 毅氏
12:10～13:10	昼 食	
13:10～14:10	「熱分解型化学発泡剤」 熱分解型化学発泡剤の特徴とその使用方法について紹介する。	永和化成工業(株)営業部 関西事業所長 近藤 仁氏
14:10～14:30	休 憩	
14:30～15:30	「白色フェラーとその表面処理」 ゴムに使用される白色フィラーとその表面処理であるステアリン酸、シランカップリング剤処理のメカニズムとキーポイントについて紹介する。	旭化成ケミカルズ(株)樹脂総合研究所 基盤技術開発部 永田 員也氏
15:30～16:30	「法律から見た有機配合剤の現状と今後の課題」 化学物質に対する法規制は、年々厳しくなっている。法規制から有機配合剤の現状と今後について紹介する。	大内新興化学工業(株)開発研究所 研究開発第三グループ 有我 望氏
16:40～	閉会のあいさつ	

※プログラムは変更の場合もございますので、あらかじめご了承ください。

----- キリトリ線 -----

関東支部・アドバンテックセミナー2010申込書 (コピー, FAX送信可)

申 込 書	(会社名)	(担当者)	(所属)
	(所在地) 〒 -	TEL () E-mail	FAX ()
受 講 者	(氏 名)	(所属部課・役職名)	・会員 ・賛助会員 ・学生 ・会員外

上記のとおり、 月 日、受講者 名、計 円を送金予定。 請求書 要